

日根小だより



令和6年3月13日(水)

文責：校長 飯田 恵子

啓蟄の候、保護者の皆様や校区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

3学期の授業参観では、子どもたちの普段の授業の様子やこれまでの学習のまとめを観ていただきました。保護者の皆様には子どもたちの姿を身近でご覧いただき、お子さんの成長を感じ取っていただけたことと思います。

さて、いよいよ6年生は今週の金曜日に卒業式を迎えます。それにあたり、さまざまなことが浮かんできます。今年度は、全校集会の形で児童朝礼を行うことができました。集会では、静かに、かつ、整然とした隊形で座ることで、下級生たちの見本となっていました。また、縦割り活動である「つながりタイム」を復活させ、下級生たちを上手く引っ張っていました。下級生たちはこの「つながりタイム」をととても楽しみにしていました。



さらに、先日の3月7日(木)には、感謝の気持ちを込めて6年生のみなさんが思い出の詰まった校舎や体育館などを掃除をしました。6年生のみなさんはもうすぐ次の新しい階段を進みます。やり残したことがないように卒業までのわずかな時を大切に過ごしてほしいと思います。また、3月9日(土)には、PTA 役員さんや学年委員さんのご協力をいただき、卒業式の式場となる体育館や花道となる廊下や玄関周りをきれいに掃除してくださいました。この日は

教職員も一緒に、廊下の窓を拭いたり、外回りをきれいにしたりして、気持ちの良い汗を流しました。

保護者の皆様のご理解ご協力のもと、おかげさまで今年度も残すところあとわずかとなりました。1年間お世話になり、ありがとうございました。



***予鈴 8:20 *始業 8:25**

【4月行事予定について】

4日(木) 入学式

8日(月) 始業式

9日(火) 2~6年1学期給食開始

9日(火)~15日(月)

午前45分×4時間授業

給食後、13時30分下校

15日(月) 1年1学期給食開始

19日(金) 授業参観

【家庭訪問について】

4月30日(火) 土丸・久ノ木・東上

5月 1日(水) 中筋・西出・野口

2日(木) 西上

7日(火) 新道出

9日(木) 野々地蔵

15日(水) 予備日

***上記日程で訪問します。**

詳細は4月以降にお知らせします。

【研究コーナー】 《 道徳の授業と評価について 》

道徳の授業は、全学年週に1回行っています。普段は学級担任が授業を行いますが、学期に数回、他のクラスの担任や学年担当の先生がローテーションで授業を行っています。

子どもたちは、普段は担任以外の先生と接する機会も多くないですが、ローテーション授業を通して、担任以外の先生とのつながりができるきっかけにもなっています。また、いろいろな考え方や価値観に触れることができ、考えの幅を広げることができます。授業後は、子どもたちの様子を共有する中で、担任が気づかなかった新たな一面を発見することもあり、授業やクラスづくりにいかすことができています。

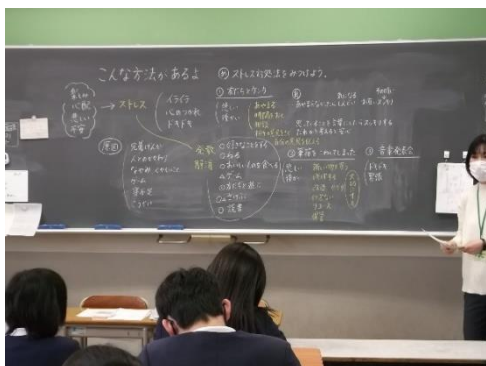
道徳科の評価は、3学期の通知票に、子どもたちが道徳の授業を通して学んできたことを中心に文章で記入しています。子どもたちがこの1年でどのようなことを学んできたのか、ご家庭で話すきっかけにしてください。

【生徒指導コーナー】 《 いじめに関する授業 》

日根野小学校では、学期に1度、いじめに関する授業を行い、いじめの未然防止につとめています。

〈3学期の実施内容〉※実施予定のものもあります。

- 【1年】 セカンドステップ 『うっかりとわざと』
- 【2年】 セカンドステップ 『うっかりとわざと』
- 【3年】 セカンドステップ 『自分の気持ちを伝える』
- 【4年】 特活 『仲よしだとなぜ断りにくいの?』
- 【5年】 特活 『自分はどんな気持ち』
- 【6年】 特活 『こんな方法があるよ』



子どもたちが安心して生活ができる日根野小学校にするために、保護者のみなさまには1年間ご協力いただきありがとうございました。今年度も残りわずかですが、これからもよろしく願いいたします。

◀ 「卒業に向けて！」 ▶



2月下旬から6年生全体で3月15日(金)の卒業式に向けて練習をしています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から縮小していた卒業式でしたが、今年度は在校生の5年生も参列して卒業生の門出を祝います。

始めは、卒業式の流れの確認や入退場、あいさつのタイミング、立つ・座るなどの細かい動作確認を行いました。主役となる6年生は、練習が進むにつれて自分たちが卒業するという事実が出てきたようで、最後となる小学校行事に全力で向き合っています。とてもよい緊張感をもって真剣に取り組んでいる姿が見られます。歌の練習や別れの言葉は、口を大きく開け、歌声や別れの言葉に気持ちをのせているのが伝わってきます。

卒業式前の3月11日(月)には、卒業生を送る会もありました。在校生みんなが6年生の卒業を祝う気持ちや、今までお世話になった感謝の気持ちを歌や言葉で伝えました。それに対し、6年生は在校生へ希望の気持ちや中学校へ進む喜びを返しました。



そんな卒業生の姿を見て、次は自分たちが日根野小学校を引っ張っていく最上級生となるのだという5年生や、6年生のお兄さんやお姉さんのようになりたいと尊敬や憧れの気持ちをもつ1年生から4年生、6年生から在校生へとバトンが受け継がれる、感動的な送る会になりました。

【カチさんとの交流】

土丸にある雷(いかづち)部屋からカチさん3人が本校に来られました。そのうちの一人、ウクライナ出身のカチさんはとても背が高く、体育館の入り口に頭があたりそうでした。

1年生から3年生は、体育館でお話をきいたり相撲クイズに答えたり、綱引きをしたりと楽しい時間を過ごしました。また、手のひらを比べ、あまりの大きさにみんな感激していました。



< 2年 「1年生とのあそび交流！」 >

2年生は、1年生とのあそび交流に向けて、2学期末から準備をしてきました。2月に入ってからは、学年全体で時間をとり、クラスの枠を越えてルールを話し合っ決めてたり、あそぶ道具を作ったりと、活動してきました。

いよいよ本番。1年生にやさしい口調でルールを説明したり、丁寧に並び方を教えたりする姿が見られました。また、うまくできない1年生に、「大丈夫!」「もう一回やってみて!」と応援したり、「今空



いています!ぜひ来てください!」と積極的に声をかけたりしていました。この1年間で大きく成長し、お兄さん・お姉さんらしく振舞っている様子が微笑ましく感じられました。「1年生、めっちゃかわいかった!」「楽しんでくれてた!」「うまく説明できたよ!」と、達成感でいっぱいのような様子でした。

いよいよ4月からは中学年。この経験を通して、下の学年に思いやりの気持ちをもって接することや、“なかま”と協力して一つのものを作り上げていくことを、さらに実践してくれればと思います。



< 4年 「点字について知ろう！」 >

2学期に、地域に住む視覚障がいの方から学校でお話を聞きました。その方は手元の機械を指で触れながらお話をしてくださいました。それは、文字情報を点字に変換して表示する機械でした。

3学期に入り、点字について学習しました。点字の存在は知っていても、どんなところに活用されているのか知らない子どもたちが多く、ふりかけやお酒の缶に表示されていることを知って驚いていました。エレベーターのボタンの近くに点字があることを知り、他の点字を探しに校内を探検している子どももいました。さらに、子どもたちは点字の読み書きを体験しました。点字は6つの点で構成されており、点字器と点筆を使って打ちます。紙の裏から打つため、読む方向とは逆に、右から鏡文字になるように一つ一つ点を打っていきます。点字の一覧表を見ながら自分の名前を打ち終えた子どもたちは、指でなぞって感触を確かめていました。

学習後の子どもたちの感想です。「自分の名前を打つだけでこれだけ苦勞するんだと驚いた。これを軽々読んだり打ったりする人の努力ははかりしれないと思った。」「案内板に点字がなくて困っている人がいたら、声をかける。いろいろな障がいがあるから、その人にあった説明をしようと思う。」「自分が目の見えない世界に行ったことを想像すると不安。そんなときに助けてくれたらすごく助かると思ったから、はずかしがらず勇気を持って声をかけようと思った。」

子どもたちは点字学習を通して、視覚障がいをもつ方々のことを深く考えることができました。点字や手話は、それを使用している人たちにとってとても大切な言葉だということを忘れず、これから自分ができることは何かを考えて、実践してほしいと思います。

